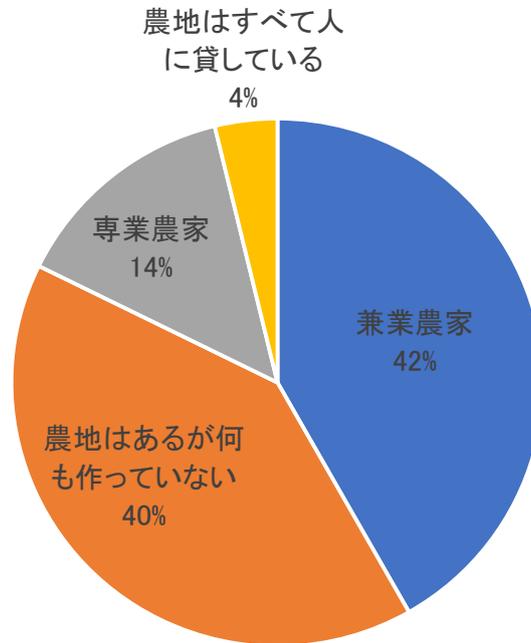


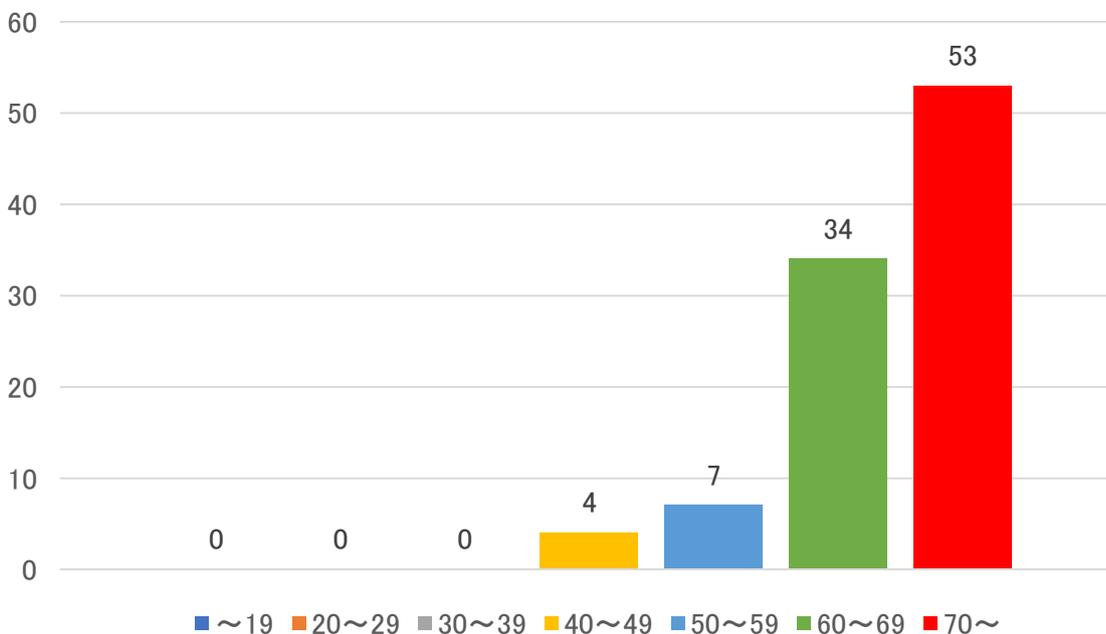
地域農業の将来に関するアンケート結果〈山元地区〉

対象者総数 112 回答者数 79 回答率 70.5%

(1) あなたの農業形態を教えてください。



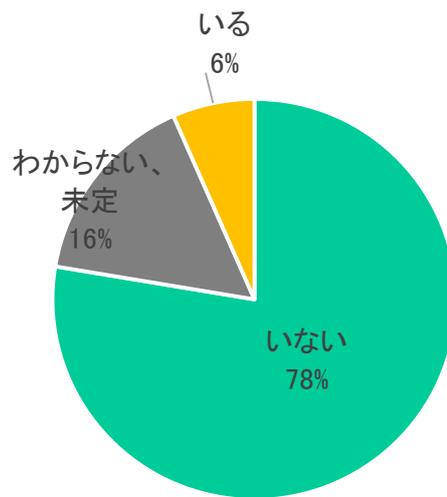
経営者年齢分布図(単位:人)



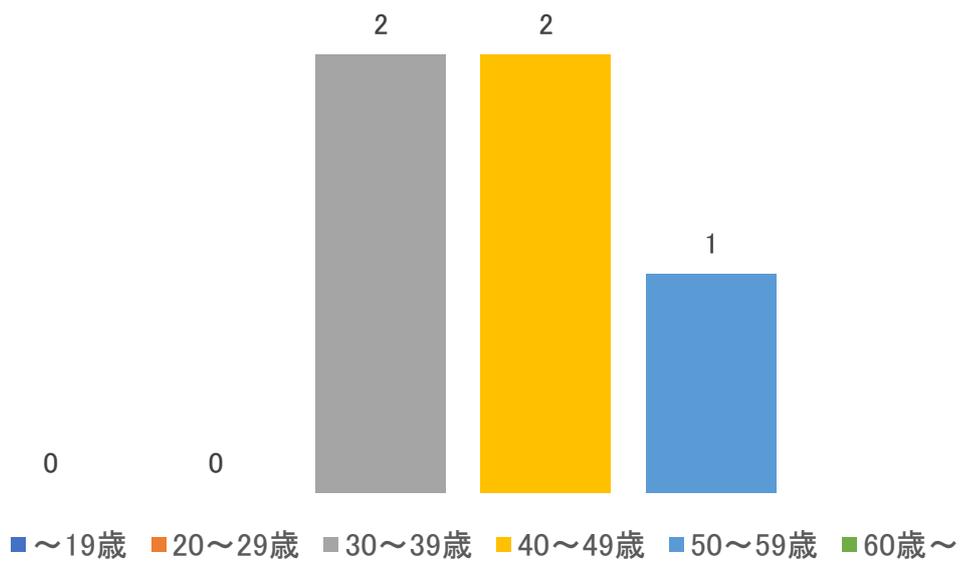
※経営者年齢は農家台帳システムおよびアンケート回答から集計した。

アンケートでは、農地はあるが何も作っていない人が4割を占めた。地域農家の高齢化が特に進んでおり、平均年齢は71.9歳であった。

(2) あなたの農業の引き継ぎ手はいますか。

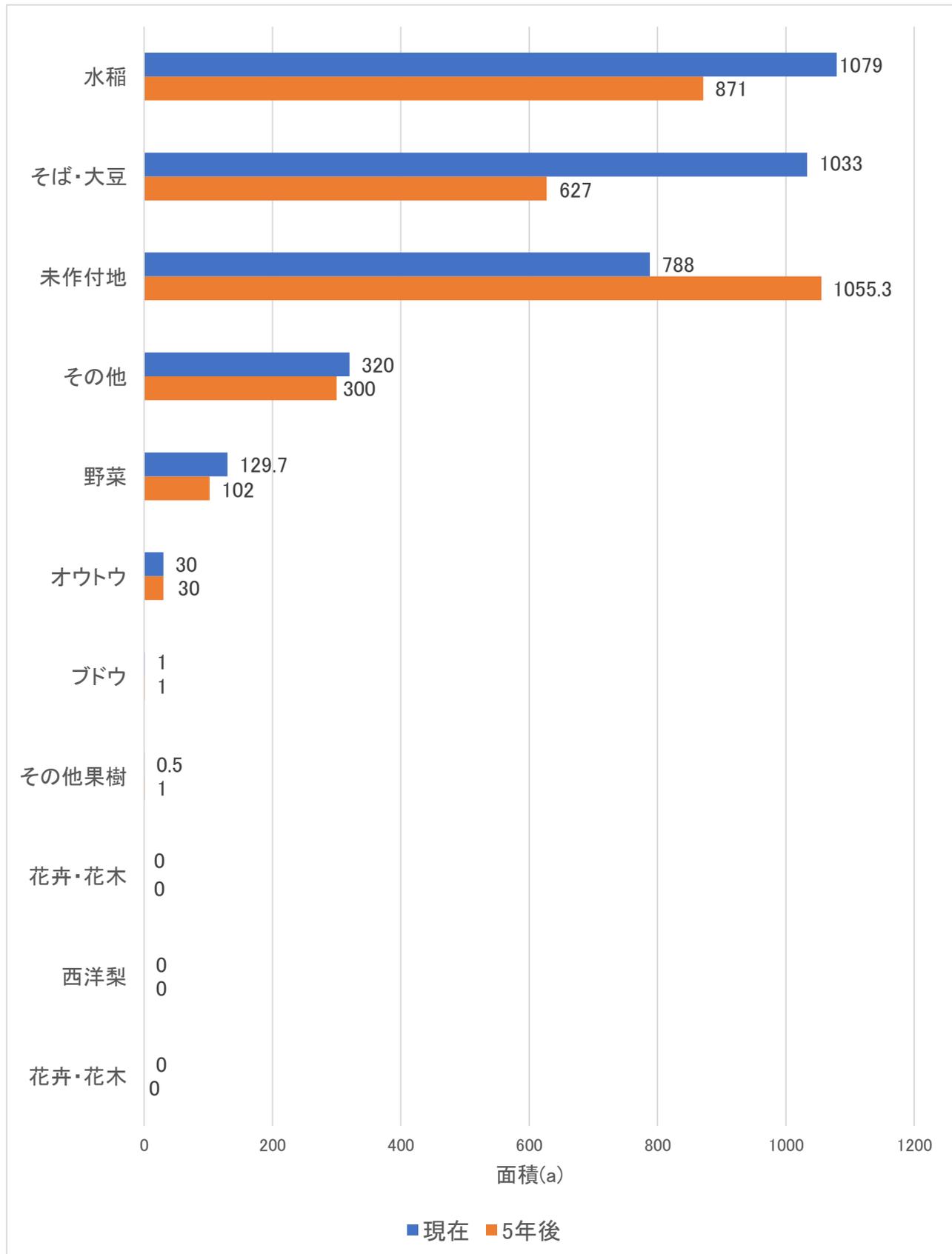


(2) 後継者年齢分布図(単位:人)



後継者がいないと答えた人は全体の8割近くを占め、地域の担い手が特に不足している。

(3) あなたの現在と将来の農業構成を教えてください。(グラフ数値は地区全体の合計面積(a))

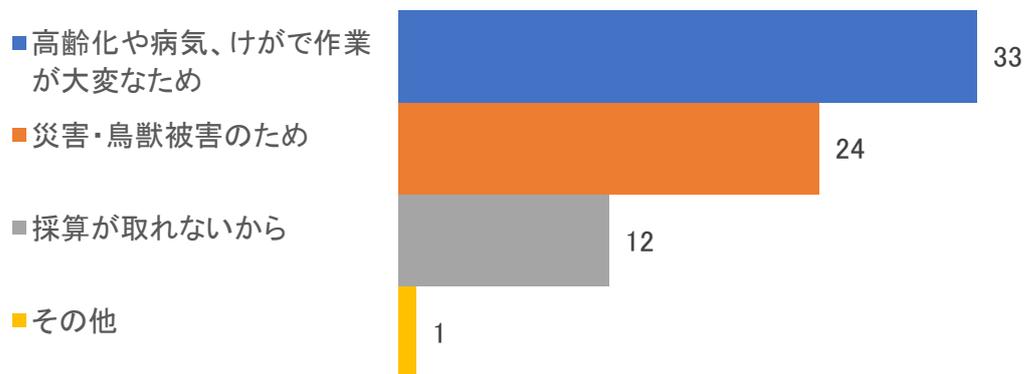


アンケートでは、地区全体で25% (661a) の農地を縮小したい意向があることが見えてきた。減少の幅が特に著しいのがそば・大豆で現状から4割 (406a) 減少する見込み。

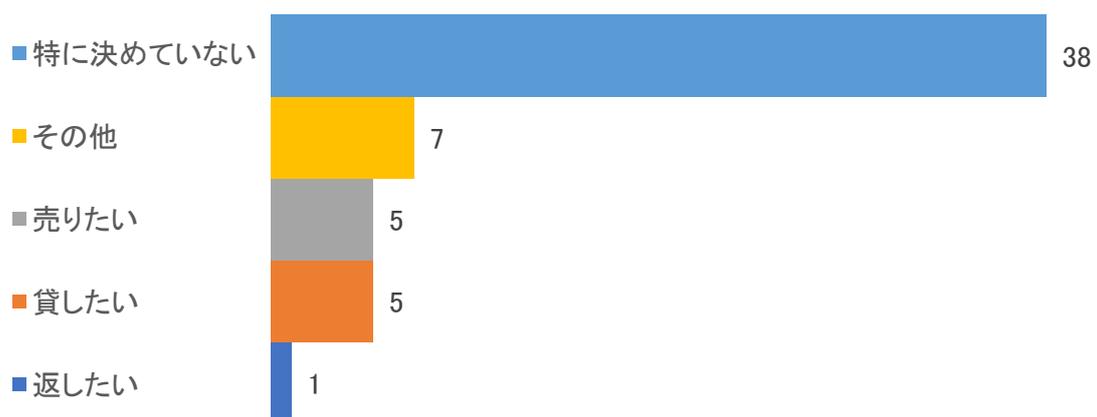
(4) (規模拡大したい方へ)規模拡大の方法はどのようにお考えですか。(複数回答可。単位:人)



(5) ①(栽培をやめたい、縮小したい方へ)理由は何ですか。(複数回答可。単位:人)



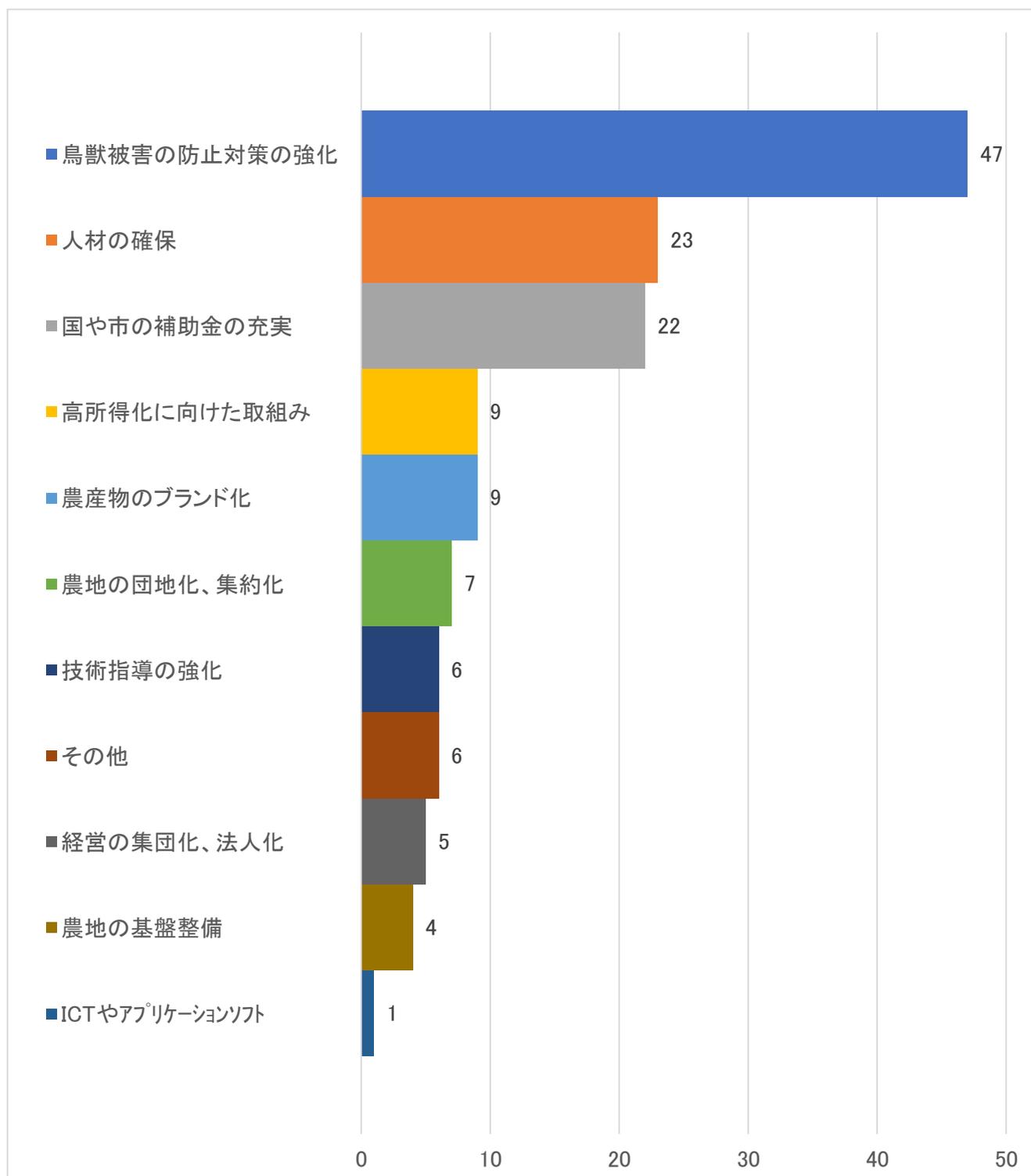
(5) ②(栽培をやめたい、縮小したい方へ)栽培をやめた、あるいは規模を縮小したあと、農地はどうしたいですか。(複数回答可。単位:人)



※その他記載欄…「木を植えたい」、「そばに転作」、「国の自然保護地へ」

規模を拡大したい作目がある人の回答を見ると、人から農地を買いたい、あるいは借りたい人が少ない。栽培をやめた後の農地については、「特に決めていない」が回答の68%を占め、「貸したい」「売りたい」を上回る。

(6) 今後の地域農業のために、何が必要だと思いますか。(複数回答可。単位:人)



今後の地域農業に必要なものとして「鳥獣被害防止対策の強化」を挙げている人が特に多い。次いで「人材の確保」、「国や市の補助金の充実」を重視する回答が多く占める。